



eCO

全6回シリーズ



# GoTo 省エネ

無駄のない賢い生活を。NO.5

最近よく耳にする言葉、「循環型社会」。

これは、限りある資源を効率的に利用し、リサイクルなどで循環させながら、将来にわたって持続して使い続けていく社会のことです。

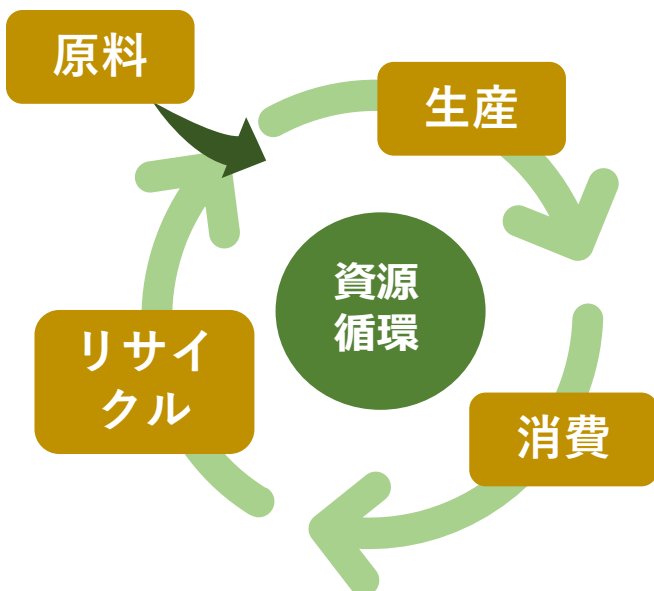


## STOP！大量生産・大量消費・大量廃棄

私たちは、たくさんのモノに支えられ、便利で快適な生活を送ってきました。その一方で、あらゆるものの生産に必要な資源の枯渇やエネルギーの大量消費、そして、大量のごみを生み出し、環境破壊や廃棄物処分場の不足など、様々な問題に直面しています。



## リニアエコノミーからサーキュラーエコノミーへ



サーキュラーエコノミーの考え方

今までは、「リニアエコノミー」(大量生産・大量消費・大量廃棄が中心の経済)の社会でしたが、これからは「サーキュラーエコノミー」(製品や資源などを可能な限り長く保全維持し、廃棄物の量を最小化する経済)の考え方が広がっています。

私たち、一人ひとりの行動や意識が重要になっています。



## できることから始めよう

石狩市では、循環型社会のキーワード「3R」（リデュース・リユース・リサイクル）に「リフューズ」を加えた「4R」の取り組みを推進しています。「4R」は、それぞれの頭文字の4つの「R」から「4R」と呼んでいます。

### リ Refuse フューズ

- ・必要以上に買わない。
- ・不要なものを受け取らない。
- ・ごみになるものは持ちこまない。



### リ Reduce デュース

- ・買い物、食事の支度は必要なものだけ、必要な量にする。
- ・繰り返し使えるものを選ぶ。



# 4R



- ・壊れても修理をしながら、繰り返し使う。
- ・フリーマーケット、リサイクルショップを利用する。

### リ Reuse ユース



- ・資源として再生し、再び原材料として利用する。

### リ Recycle サイクル

まずは自分ができる**4R行動**で、ごみを減らす取り組みを始めましょう。思い立ったら今すぐ行動！